

勤労感謝の日のお話

前回心配していたとおり、急に気温が下がり、寒いと感じる日が多くなってきましたね。キノコシーズンも一段落したのか、食中毒のニュースは見かけなくなりましたが、クマ被害のニュースは減っていないように感じます。

11月23日は「勤労感謝の日」でした。

日付については、昔から日本でおこなわれてきた新嘗祭（天皇が穀物などを神におそなえし、その恵みに感謝する行事）がもとになっています。新嘗祭は、いまでも全国の神社などで行われています。第二次

世界大戦のあと、日本の祝日から宗教、神道にかかわるものをなくそう、というので、日付はそのまま残りましたが、名前を変えたものが今に続いている、ということだそうです。

アメリカの感謝祭（Thanksgiving Day）やヨーロッパの収穫祭（ドイツのオクトーバーフェストなど）も、その年の収穫を神に感謝するお祭りなので、同じようなものと言えます。ただし、新嘗祭のほうが、庶民が集まってお酒や料理を楽しむお祭りというよりも、神事としての意味が強いようです。



いまの^{きんろうかんしゃ}勤労感謝の日は、^{しゅうかく}収穫だけでなく、毎日のお互いの^{たが}労働に感謝しあい、
体をやすめる、という^{いみ}意味に受け取られていることが多いようです。（と、^い言い
ながらティープロでは父母会があり、^{しゅっせき}出席されたご父母は休めていないのです
が……）

日ごろ、おうちのお手伝いをがんばって
いる人も多いと思いますが、^{かぞく}家族の中でも
お互いの感謝を^{わす}忘れずに伝えあうように
する良い^{きかい}機会かもしれませんね。

ちょっと^{はなし}話は変わりますが、おうちの
お手伝いをすることで、^{りか}理科や^{しゃかい}社会の学び

につながることもたくさんあります。^{つくえ}机の^{まえ}前でがんばるだけが勉強ではありません。
お父さんやお母さんのお手伝いをしながら、いろんな^{はなし}話をしてみてくださいね。



23/11/23 （なべでわいてくるお湯の動きを見るのが好きだった） あん Do